



総務省

関西の未来を紡ぐICT

平成30年度
—近畿総合通信局の重点施策を紹介します—

1 地域経済の発展に向けた地域連携によるICT社会実装の推進

IoTの社会実装をはじめとする地域のICTの利活用を関係機関と連携して推進することにより、地域経済の発展につなげます。また、多言語音声翻訳や放送コンテンツの海外展開の支援によるインバウンド拡大への貢献、競争的資金の活用による技術発掘・人材育成及びICTベンチャーへの支援に取り組みます。

(1)地域におけるICT利活用及びIoT社会実装の推進

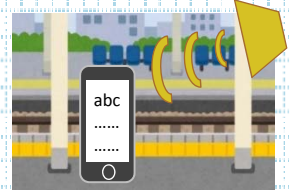
- ICT関連ビジネス創出支援、IoT推進のための人材育成等の推進
- 戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)を活用したICT分野の研究開発支援及び社会実装の推進
- 農林水産業等におけるICT利活用優良事例の普及展開及び地域における先導的プログラミング教育の普及展開
- 自治体が整備するWi-Fi環境の整備支援

(2)インバウンド拡大のためのICT利活用の推進

- 多言語音声翻訳システムの活用促進
- 放送コンテンツの海外展開への支援



ふるさとテレワーク
(サテライトオフィス)



音声翻訳システム

2 災害に強いICT基盤の整備促進

災害時における国民の生命・財産の確保に必要な情報の提供を確実に行うため、防災行政無線の高度化や放送ネットワークの強靱化など、災害に強い情報通信インフラの整備を促進します。また、災害発生時に備えた自治体等への支援活動に取り組みます。

(1)地域におけるICT基盤の強化・高度化の推進

- 防災行政無線のデジタル化による高度化及び普及促進
- 放送ネットワーク整備支援事業の促進



←災害対策用
移動通信機器



移動電源車→

(2)災害に備えた体制強化の支援

- 漁業無線を活用した非常時等における通信確保の促進
- 自治体に対する災害対策用の移動通信機器・移動電源車の貸与
- 南海トラフ巨大地震に係る自治体へのコンサルテーション
- 防災情報通信セミナーの開催



総務省

3 安心・安全で快適なICT利用環境の確保

ICT社会の脅威に対応するサイバーセキュリティの推進を図るほか、広く普及が進むスマートフォンやインターネットを誰もが安心・安全に利用できるよう、青少年を中心とするインターネットリテラシーの向上、関係機関等と連携して電気通信サービスの消費者トラブル解決の支援等に取り組みます。

(1)サイバーセキュリティの推進

- 情報セキュリティセミナーの開催
- サイバーセキュリティの人材育成に関する啓発

(2)電気通信サービスにおける消費者の支援

- 近畿電気通信消費者支援連絡会による情報共有の促進
- 地域の消費者関係機関との連携強化及び情報共有

(2)青少年を中心とするインターネットリテラシーの向上

- 春のあんしんネット・新学期一斉行動の積極的展開、動画フェスタin近畿等の効果的開催
- e-ネットキャラバンの継続実施、青少年インターネットリテラシー指標調査（ILASテスト）の実施推進及び成果展開
- 情報通信の安心安全な利用のための標語の作品募集及び優秀作品の利活用

平成29年度 情報通信の
安心安全な利用のための標語



近畿総合通信局長賞

大丈夫？ 世界が見てるよ
SNS

(神戸市立真野小学校 / 兵庫県)



← 次世代移動通信システム(5G)の実証試験

動画フェスタin近畿2017表彰式の様様



4 電波利用環境の整備

地域における電波利用ニーズへの対応や新たな無線システムの普及促進を図ります。また、私たちの快適で安心・安全な社会生活を支えるため、関係機関と連携して良好な電波利用環境の保護・維持に努めます。

(1)地域における電波利用の促進

- 地域における電波利用ニーズの発掘とその実現に向けた取組
- 携帯電話エリア外地域の解消の促進と次世代移動通信システム導入のための環境整備
- 小型船舶の安全向上に係るシステムの普及促進

(2)良好な電波利用環境の維持

- 医療機関における良好な電波利用環境の整備促進
- 電波の健康影響に関する知識の啓発
- 重要無線通信妨害の迅速な排除及び未然防止対策の強化
- 不法・違法無線局一掃の取組
- 特別電波監視の実施